

自立活動だより

大府特別支援学校

2018.12.21

No.2

大府特別支援学校では、「自立に向けて、健康状態の維持・改善を図り、自分のよさに気づき、自己もっている力や可能性を引き出しながら、主体的に行動できる力の育成をめざす。」という目標のもとに、自立活動をしています。今回は、2学期の活動の様子をお伝えします

小学部



小学部高学年では、他者とよりよく関わることを目標に、「みんなでロボット」という題材で活動に取り組みました。レゴロボットの組み立てとプログラムをグループの友達と協力して行うことを通して、友達に分かりやすく自分の考えを説明することや友達の意見を取り入れていくことを学びました。レゴロボットのプログラムが完成すると、他のグループと見せ合い、工夫したところなどを紹介しました。他のグループよりもよいものを作ろうと夢中になって取り組む中で、積極的な会話もたれていました。



あかしあ学級では、顔の筋力向上と口や顔への刺激に慣れることを目標に、顔の体操と歯磨きに取り組みました。顔の体操として取り組んだらめっこでは、相手を笑わせるためにさまざまな表情をすることで、楽しみながら顔の筋肉を使うことができました。歯磨きの学習では、歯ブラシの毛先を自分で歯につけられるようになったり、磨き残しがないように意識したりすることができるようになるなど、それぞれ成長した姿を見ることができました。

小学部全体では、10月末から「ペースランニング・ウォーキング」（運動制限のない児童対象）と「つくってみよう」（運動制限のある児童や車椅子の児童対象）に分かれて活動を行いました。

「ペースランニング・ウォーキング」では、体調に応じた目標を各自設定し、目標に向けて走ったり歩いたりすることができました。「つくってみよう」の高学年グループでは、自分について知り、将来について考えを深めることを目標に、インタビューをしたり、仕事調べを行ったりしました。自分のことや興味のある仕事について、ワークシートにまとめていくことができました。「つくってみよう」の低・中学年グループでは、手指の巧緻性や集中力の向上を目標に毛糸の作品作りに取り組みました。作品作りを楽しみながら集中して活動することができました。

その他小学部全体でエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングにも取り組み、友達との関わり方を学びました。

中学部



9月12日（水）に中学部全体でSST（ソーシャルスキルトレーニング）に取り組みました。周囲の人たちと円滑な人間関係を築くことを目的に、「目指せ、ごめんの達人」という題材で学習をしました。

トラブルの場面を設定し、「謝罪の言葉、自分の非を認める言葉、これからどのようなことに気を付けるか」をポイントに、実際に生徒同士でロールプレイを行いました。生徒たちの振り返りには、「謝るときはとても緊張するし、不安でいっぱいですが、行動力が大切だと思いました。」「けんかになったときは、今日のことを思い出していきたいと思う。」といった感想があり、今後の日常生活の中



でも生かしてほしいと思います。

10月17日（水）から1か月半の期間は、「ペースランニング・ウォーキング」に取り組みました。生徒それぞれが自分の目標を設定し、一定のペースで走ろうと努力する姿がありました。また、自然の中での運動を経験すること



で、心身の解放にもつながっていました。運動に制限のある生徒や車椅子の生徒は、校内で「ペースランニング」に取り組みました。読書やアイロンビーズ制作など、一定のペースでとても集中して取り組むことができていました。



高等部



高等部の今年度の全体の目標は、「人と関わる力を付けよう」です。そこで2学期はグループエンカウ



ンターから始めました。いろいろな人に話しかける練習を兼ねて「サインくださいビンゴゲーム」に取り組みました。これは、9マスのビンゴゲームカードの真ん中のマスに自分の名前を書き入れ、周りの8マスに友だちにサインをもらおうというもの。そのとき「夏休みの思い出」「好きなテレビ番組」を話題にしておしゃべりをする課題があります。これはOECD（経済協力開発機構）も推奨する「雑談をする力」につながるものです。

友だちといえども、学年が異なるとなかなか声をかけることができません。でもおしゃべりとなると話が弾んでいました。そしてくじ引きのように名前を書いてあるカードを読み上げてビンゴを早く完成した人が優勝というゲームに、盛り上がりました。

次に「仲間と出し合った意見を調整する」ことを目標にして、文化祭に向けて脚本を考える活動に取り組みました。黒板に書いた脚本のもとになるアイデアを出すところで、自由な発想で発言し合う姿が見られました。なかなかまとまりませんが、何度も書き直しながら、みんなで知恵を出し合っ



て形にしていく楽しさを体験しました。

文化祭が終わってからは、中学部と合同でペースランニン

グ・ウォーキングに取り組みました。「自分の一番気持ちの良いペースを知ろう」がテーマでした。小春日和の気持ちの良い天気が多く、愛知健康の森の紅葉を楽しみながら行うことができ、卒業後の生活において課題となるストレス対策のよい学習になりました。生涯にわたる運動習慣につながると良いと思います。運動制限のある生徒は、教室での共同制作（ジグソーパズル1000P）に取り組みました。制作が目的ではなく、その過程のコミュニケーションを楽しむことがねらいでした。意外に難しかったので、気楽なおしゃべりの余裕はなかったのですが、完成に向けて懸命に力を合わせることで、少しずつできていく作品が共通の財産のようになり、団結力が高まりました。



施設内教育 JCHO 中京病院



中京病院の施設内学級では興味関心の幅を広げ、さらに持続力を養うことを目標にして、好きな活動を楽しんだり継続的な活動に取り組んだりしています。

折り紙遊びでは、検定表を使って段階的にいろいろな作品を作ることで、どの学年の児童でも意欲的に取り組むことができます。小3のRさんは、これまであまり折り紙をしたことがなかったのですが、一つの作品ができるごとに、次の作品を作ることが楽しみな様子でした。検定表が終わ

っても、折り紙の本や見本の作品の中から次に折りたい物を見つけて、楽しそうに取り組みました。また、小3のK君は、ユニット折り紙に挑戦し、見本を見ながら組み立て方をよく考えて立体作品を作りました。出来上がったときには、大きな達成感を味わうことができました。

小4のK君は、毛糸でポンポンを作りました。できたポンポンを顔に見立ててフェルトで目口や手をつけて楽しみました。また、好きなキャラクターでフェルトマスコットを作りました。次々に次回作への意欲が湧き、休み時間も使って頑張りました。

